

事務事業評価表(既存事業)

コード 8-1-9	事務事業名 都市計画道路整備事業(西3・5・10号線)	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	--------------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 本路線は、西東京市都市計画道路3・4・20号線と西東京市都市計画道路3・4・25号線を結び、東西方向のアクセスの強化を図り、ひばりが丘駅及び田無駅との連絡を円滑にする。	総合計画上の位置づけ (政策)快適な日常生活のために (施策)道路・交通の整備(安1-2) (主要施策)都市計画道路の整備
	実施内容、実施方法 本路線は、延長750m・面積6,775㎡の道路整備を予定しており、今年度は、現況測量800mを実施予定	根拠法令等 多摩地域における都市計画道路の第二次事業化計画
	事業開始時期 平成16年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 用地買収面積	活動指標の考え方(定義) 当該年度の用地買収面積(0㎡)
	道路完成延長	当該年度の道路完成延長(0m)
	成果指標名 路線全体の事業費による完成率	成果指標の考え方(定義) 過年度の事業費計と全体事業費の割合(%)
	路線全体の完成延長による完成率	過年度の完成延長と計画延長の割合(%)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	3,413	500	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源				3,413	500	
	所要人員(B)	人			0.5		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	4,164	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	7,577	500	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(用地買収面積)	千円	0	0			
	歳入	千円			0	0	
	活動指標	目標値	㎡			0.0	0
		実績値	㎡			0.0	
	活動指標	目標値	m			0	0
実績値		m	0				
成果指標	目標値	%			0.2	0	
	実績値	%			0.2		
成果指標	目標値	%			0	0	
	実績値	%			0		

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特になし
	国・都・他市・民間等 における類似事業	特になし
	運営上の制約条件・ 外部要因等	住宅市街地整備総合支援事業の公共施設に位置づけられている。

コード 8-1-9	事務事業名 都市計画道路整備事業(西3・5・10号線)	所管部課 都市整備部都市計画課
--------------	--------------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	現況測量において立会い拒否による未測量部分があった。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	本路線は、住宅市街地整備総合支援事業に基づく公共施設に位置づけられ、ひばりが丘団地の建替えと一体となった整備が必要とされている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	測量の委託価格は、東京都の積算基準に基づき積算している。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	地元の理解を得るため、できる限り資料を揃え地元住民と接した。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	当該年度の現況測量は、測量説明会において地元から反対を受けたため、説明会を個別に話ができる手法に替えることで一軒を除き、地元の理解を得られ測量を行うことができた。

17年度における改善点	地元の理解を深めるように努力し、未測量部の測量を行う。
-------------	-----------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。